



Title	北海道におけるキリスト教学：一牧師の視点から
Author(s)	福島, 恒雄
Citation	基督教学, 27, 31-33
Issue Date	1992-07-05
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/46505
Type	other
File Information	27_31-33.pdf



[Instructions for use](#)

「北海道におけるキリスト教学」

牧師の視点から

福島 恒雄

北海道基督教学会が創立されて三〇年となり、初代会長の中川秀恭先生を迎えて記念大会がもたれますのは喜ばしいことです。

大切なシンポジウムに過疎地で開拓伝道をしている者が発題することは適当かどうか迷いました。ただ、一九六三年に北海道に来て翌年から会員に加えて頂き、学びと発表の機会を与えられてきましたので、牧師の立場から若干述べてみたいと思います。

日本基督教学会が一九五二年に発足し、学会誌『日本の神学』が創刊されたのは一〇年後の一九六二年でした。この年北海道基督教学会が設立され、四年後に『基督教

学』が刊行されて一年も休むことなく続けられました。これは驚くべき業績であったと思います。北海道大学宗教学研究室が一貫して事務局の労苦を担ってこられたからと感謝しています。

私は三つのことを話してみたいと思います。

- ① 北海道のキリスト教学前史
- ② 研究発表の内容
- ③ 今後の歩ゆみに希望すること。

一、北海道のキリスト教学前史

『日本の神学』第二号（一九六三）に菅岡吉氏は「基督教学会の成立にいたるまで」と題して、一九一六年までさかのぼりその前史を書いています。

北海道基督教学会は中川秀恭先生の呼びかけで広く斯学に志す者が賛同して生れたものと思いますが、その前史としてキリスト教学の背景をさかのぼることが出来ると思います。必ずしも厳密な意味ではありませんが、スペースの関係で列挙しますと、

①、キリシタン時代に渡来した宣教師の報告書（G. Angelis, D. Carvaglio）②、ニコライ（I. D. Kasatkin）

がロシヤ報知に発表した「ニコライが見た幕末日本」や伝道規則等は優れた宣教論であったと思います。③、デニング宣教師 (W. Dening) の神学思想と解任 (一八八三年) の問題 (註一) ④、クラーク (W. S. Clark) とその弟子達の信仰と思想、⑤、バチェラー (J. Batchelor) の聖書をアイヌ語に翻訳とピアソン (G. P. Pierson) の聖書註解、⑥、高倉徳太郎 (一九一三—一八年札幌北辰教会牧師) 熊野義孝 (一九二六—三一年函館相生町教会牧師) の初期神学思想の形成をあげることができましよう。

(註2)

その他、直接的ではありませんが、北海道キリスト教は豊かな歴史的遺産を受け継いでいると思います。

二、北海道基督教学会で発表されてきたもの

一九六二年から一九九〇年までに発表されたものをリストアップしてみますと (学会略年表参照)、実に多彩な内容であったと思います。

これを日本基督教学会誌の『日本の神学』に準じて分類してみますと下記の様になります。①、旧約学関係

二二、②、新約学関係 二三、③、歴史神学関係 三八、

④、組織神学関係、一四、⑤、実践神学関係 四、⑥、宗教哲学関係 二七、⑦、キリスト教文学、芸術、音楽関係 三、⑧、キリスト教教育関係 七、⑨、キリスト教建築関係 九。

旧約、新約関係はバランスがとれており、実践神学関係はきわめて低く、歴史神学と宗教哲学、思想関係が圧倒的に多く、又、キリスト教建築関係が比較的多く発表されているのが特徴かと思えます。

三、今後の学会に希望すること

私は伝道牧会をしながら北海道基督教学会で学ぶ機会を与えられたことを感謝しています。今後にも内容の充実と発展を希望している者です。ただ、前記にもありますように実践神学部門の発表が少ないことと、牧師の参加が少ないことを思います。『日本の神学』第四号で浅野順一氏も提起していますが、今後に期待したいと思えます。K・バルトの神学は小さな農村教会の説教の悩みから生れたことを思うのです。

註一、デニング宣教師の問題は一九七六年に英国のグアム大学で行われた日本学研究会でロンドン大学の講師を

してゐたHelen Ballhatchet女史が(The Missionary approach to Japan: Walter Dening, A Case Study) として發表している。

註二、高倉神学の初期形成期は佐藤敏夫氏も北辰教会時代に注目している。『高倉徳太郎著作集第四卷解説』

又熊野義孝氏の『終末論と歴史哲学』をだしたのは函館相生町教会を辞して二年目のことで、熊野神学初期形成期としてみる事が出来よう。